

製品名: EMR4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10449**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	EMR4P EMR4P; EMR4; GPR127; PGR16; Putative EGF-like module-containing mucin-like hormone
別名	receptor-like 4; EGF-like module receptor 4; G-protein coupled receptor 127; G-protein coupled receptor PGR16
遺伝子 ID	326342.0
SwissProt ID	Q86SQ3
免疫原	抗血清はヒト EMR4P 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

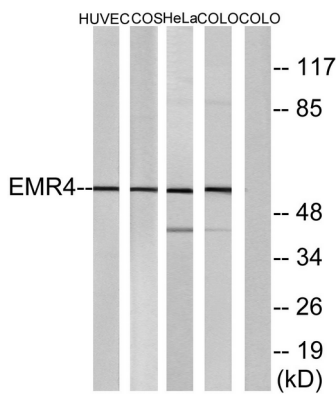
背景

この遺伝子は、白血球の接着と遊走に関与すると考えられている EGF-TM7 受容体遺伝子ファミリーのメンバーです。ヒト以外の霊長類を含む他の脊椎動物では、この遺伝子は N 末端 EGF ドメインと C 末端膜貫通ドメインを含むタンパク質をコードしています。しかしながら、ヒト遺伝子の配列解析から、ゲノム配列中のヌクレオチド欠失はフレームシフトを引き起こし、翻訳の早期終結につながることを示唆されています。この遺伝子によって発現されるタンパク質は細胞表面に発現するのではなく、可溶性タンパク質として発現すると考えられます。コードされているタンパク質は検出されていないため、この遺伝子は転写された擬似遺伝子である可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 8 月]

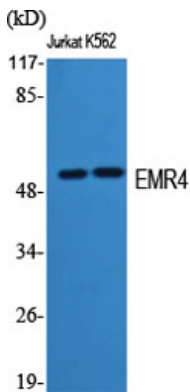
研究分野

-

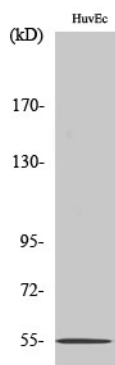
画像データ



EMR4 抗体を用いた HUVEC 細胞、COS7 細胞、HeLa 細胞、および COLO205 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



EMR4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



EMR4 ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析

